

## 課程 全日制

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	学年	1	科	全学科
使用教科書	My Way English Communication I（三省堂）								
補助教材等	My Way English Communication I Workbook Standard（三省堂） データベース 3000 基本英単語・熟語 Workbook A・B（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Pre Listening Box（啓林館）								

## 1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 外国語の学習を通して、社会や世界に目を向け、他者や他文化への理解を深めるための大切な授業です。授業中での言語活動に積極的に取り組み、音声や文字を的確に捉え、自身の言葉としてそれを定着させることを目標に授業に取り組んでください。
- 授業で扱う教材の理解を深めるため、意味の分からない後は辞書等で調べましょう。まとまった文章の概要を捉えるため、内容理解等に関する設問や教材も使用します。語彙を増やすために単語帳を使用し、書き取りドリル等の宿題を課すこともあります。言語の習得には反復練習が効果的です。粘り強く復習を行い、課題は必ず提出して下さい。成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課します。
- 授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」活動を行います。間違いを恐れず積極的に英語を声に出したり書いたりして自分の言いたいことを伝え、友達や教材から伝えられることを理解しようとする姿勢を養いましょう。
- 英語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。また、限られた授業時間の中だけで英語を身に着けることは簡単ではありません。毎日少しでも意識的に英語に触れ、英語の音や文字に慣れ親しむ習慣をつけて下さい。

## 3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

	話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	知識や技能を習得するために課題等に取り組み、定着を図ろうとしている。
主な評価方法	・定期テスト（知識の習得を問う問題及び知識の概念的理解を問う問題）の結果	・定期テストの応用問題の結果 ・英作文や発表などの内容及び到達度	・日常的な授業の取り組みや発言、ペアワークやグループワークへの取り組み ・行動観察 ・提出課題の取り組み状況

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
一学期	4	世界の様々な文化（ことわざ）について学ぶ	Lesson1 Proverbs Around the World	30	動詞の現在形・過去形・現在進行形/SVO	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて作文したり、応用的な内容の物を理解できる (b)  授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	5	動物を通して生き方や考え方について学ぶ	Lesson2 Iwago Mitsuaki – An Animal Photographer		助動詞／受け身／助動詞のついた受け身	
	6	高校生の挑戦について知り、経緯を学ぶ	Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space  通年で ※教科書の文法事項に該当する項目を Learners' English Grammar で より詳しく学ぶ ※単語帳		動名詞／to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法	

			Database3000 を用いて語彙を 広げる			
二 学 期	7	「クマのプー さん」に込め られたメッセ ージを知る	Lesson4 Messengers from <i>Winnie the Pooh</i>	45	現在完了形／現在完了進 行形／過去完了形	各単元に出てくる単 語や熟語、言語表現 が理解できたり、書 くことができる。ま た、単元の内容を的 確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文 法事項が理解できて 定着している。(a) 関連したテーマにつ いて既習事項を用い た作文や発表をした り、応用的な内容の 物を理解できる (b)  授業に積極的に取り 組み、扱ったプリン トや課題を提出して いる。(c)
	8	消滅の危機に ある言語につ いて学ぶ	Lesson5 Endangered Languages		関係代名詞（主格）／関係 代名詞（目的格）／関係代名 詞 what It is ... to 不定詞	
	9	三代達也さん の世界旅行の 経験を知る	Lesson 6 A Wheelchair Traveler		現在分詞の形容詞的用法／ 過去分詞の形容詞的用法／ 分詞構文／It is ... that ～	
	10	難民の子供た ちの現状を知 る	Lesson 7 The Fugees		関係副詞 where／関係副詞 when／関係副詞 why／ 比較級・最上級	
三 学 期	12		Pre Listening Box を週 1 回 のペースで開始	30	条件を表すif節／仮定法過去 ／I wish ～／as if ～	各単元に出てくる単 語や熟語、言語表現 が理解できたり、書 くことができる。ま た、単元の内容を的 確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文 法事項が理解できて 定着している。(a) 関連したテーマにつ いて既習事項を用い
	1	技術開発につ いて考える	Lesson 8 Avatar Robots		SVO <sub>1</sub> O <sub>2</sub> (O <sub>2</sub> =how to ～) ／ SVO+to 不定詞／ SVOC (C=動詞の原形) ／ SVOC (C=現在分詞)	
	2	作品と想像力 の関係につ いて学ぶ	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination			
	3	SDGs に関する 様々なテーマ	Lesson 10 SDGs —			

		のプレゼンテーションを読み、考える	Sustainable Development Goals			た作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b)  授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
--	--	-------------------	-------------------------------------	--	--	---

合計 105時間

課程 全日制

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3	学年	2	科	全学科
使用教科書		Vivid English Communication II NEW EDITION（第一学習社）							
補助教材等		My Way English Communication II Workbook Standard（三省堂） データベース 3000 基礎英単語・熟語 Workbook B・C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Listening Box 1（啓林館）							

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- 外国語の学習を通して、社会や世界に目を向け、他者や他文化への理解を深めるための大切な授業です。授業中での言語活動に積極的に取り組み、音声や文字を的確に捉え、自身の言葉としてそれを定着させることを目標に授業に取り組んでください。
- 授業で扱う教材の理解を深めるため、意味の分からない語は辞書等で調べましょう。まとまった文章の概要を捉えるため、内容理解等に関する設問や教材も使用します。語彙を増やすために単語帳を使用し、書き取りドリル等の宿題を課すこともあります。言語の習得には反復練習が効果的です。粘り強く復習を行い、課題は必ず提出すること。成績不振者に対しては学期ごとに課題、追試、補習等を課します。
- 授業では「読む」「書く」「聞く」「話す」活動を行います。間違いを恐れず積極的に英語を声に出したり書いたりして自分の言いたいことを伝え、友達や教材から伝えられることを理解しようとする姿勢を養いましょう。
- 英語力の伸長を図ることは、短期間で効率的にできることではありません。また、限られた授業時間の中だけで英語を身に着けることは簡単ではありません。毎日少しでも意識的に英語に触れ、英語の音や文字に慣れ親しむ習慣をつけて下さい。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

	話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・知識や技能を習得するために課題等に取り組み、定着を図ろうとしている。
主な評価方法	・定期テスト（知識の習得を問う問題及び知識の概念的理解を問う問題）の結果	・定期テストの応用問題の結果 ・英作文や発表などの内容及び到達度	・日常的な授業の取り組みや発言、ペアワークやグループワークへの取り組み ・行動観察 ・提出課題の取り組み状況

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

学期	月	単元	教材	時数	学習内容	評価規準
一学期	4	世界の様々な文化について学ぶ	Lesson1 Dances Around the World	30	SVO(O=that / what / if / whether 節) SVO <sub>1</sub> O <sub>2</sub> (O <sub>2</sub> = if / that / what 節)	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b) 授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	5	桂三輝さんの英語落語についてのインタビューを読む	Lesson2 Katsura Sunshine		形式主語の it 形式目的語の it	
	6		通年で ※教科書の文法事項に該当する項目を Learners' English Grammar でより詳しく学ぶ ※単語帳 Database3000 を用いて語彙を広げる ※Listening Box を用いて必要な情報を聞きとる力を伸ばす		海外からの旅行者や友人に紹介する日本文化について話す	

二 学 期	7	野生動物保護活動について考える	Lesson 3 Living with Nature	45	現在完了形 現在完了進行形 過去完了形 過去完了進行形	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b)  授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
	8					
	9					
	10	セサミストーリーに込められたメッセージについて考える	Lesson 4 Sesame Street		SVOC (V=知覚動詞 C=動詞原型) SVOC (V=知覚動詞 C = 過去分詞) SVOC(V=使役動詞 have,make C=過去分詞) help+O+動詞の原形	
三 学 期	11					
	12	海外での活動・ビジネスについて知る	Lesson 5 From Landmines to Herb	30	関係代名詞 (主格) 前置詞+関係代名詞 関係代名詞の非制限用法 関係副詞の非制限用法	各単元に出てくる単語や熟語、言語表現が理解できたり、書くことができる。また、単元の内容を的確に捉えている。 (a) それぞれの単元の文法事項が理解できて定着している。(a) 関連したテーマについて既習事項を用いた作文や発表をしたり、応用的な内容の物を理解できる (b)
	1					
2	世界中の壁画プロジェクトについて知り、考える	Lesson 6 Murals	参加してみたい国際ボランティア活動について話す  助動詞 / 助動詞の過去形を使った表現/助動詞+have+過去分詞/完了不定詞			

						授業に積極的に取り組み、扱ったプリントや課題を提出している。(c)
--	--	--	--	--	--	-----------------------------------

合計 105時間

課程 全日制

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書 副教材	Vivid English Communication II NEW EDITION（第一学習社） DataBase3000 基本礎英単語・熟語 Workbook C（桐原書店） Learners' English Grammar in 21 Stages（数研出版） Listening Box 1（啓林館）								

### 1. 科目の目標と評価の観点

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で、適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。			
評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。	さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。	表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができるか。	英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができるか。

### 2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
定期考査		◎	◎	○	知識・読解・表現・リスニング等
授業態度	◎			○	ペアワークやグループワークへの参加状況や、教師の問いに対する応答
提出課題		◎	○		Data Base 3000 Workbook C・授業プリント・Learners'

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

### 3. 学習にあたっての注意とアドバイス

① 課題は必ず提出すること
② 成績不振者に対しては、学期毎に課題、追試、補習等を課す。

4. 年間学習計画

		学習の内容		考査範囲	予定 時数
一 学 期	4月	Lesson 3	・折り紙の歴史と現在	中間左記範囲  期末左記範囲	20
	5月	Lesson 4	・形式主語 It is 形容詞 that節、 S+V+it+C+that節、S+V+O+O		
	6月		・数字にまつわる文化と伝統 ・関係代名詞の制限用法、非制限用法、完了形、受け身の完了形		
二 学 期	7月	Lesson 5	・カプセルによる最新医療	中間左記範囲  期末左記範囲	30
	8月	Lesson 6	・群動詞、進行形（受け身）、関係副詞の制限用法、非制限用法		
	9月		・国内外の環境保護		
	10月	Lesson 7	・副詞節、分詞構文（現在分詞）、助動詞+完了形		
	11月	Learners'	・ジョン万次郎の半生と英語 ・副詞節、分詞構文（過去分詞）、関係代名詞と前置詞 ・関係詞(II)、分詞(II)		
三 学 期	12月	Reading 8	・LRT と街づくり	学年末考査 左記範囲	20
	1月	Reading 9	・仮定法過去、S+V+O+C(=原形不定詞)、 S+V+O+C(=過去分詞)、同格の that		
		Learners'	・瀬谷ルミ子さんの取り組み ・have[get]+O+過去分詞、完了不定詞、仮定法過去完了、省略 ・仮定法(I)		

合計 70 時間

課程 全日制

教科	英語	科目	英語探究	単位数	2	学年	3	科	全学科
使用教科書 副教材		随時、独自教材を使用							

1. 科目の目標と評価の観点

目標	<p>①英語によるup-to-dateな挨拶ができるようにする。 毎時、現代的な英語による挨拶を反復的に行うことで、同言語による挨拶の習得を目標とする。</p> <p>② 英語による挨拶から派生するsmall talkを対話者とできるようにする。 挨拶に関連して、自分に関する情報を、英語の短文を用いて相手に伝えられるようにする。</p> <p>③ALTとのactivitiesを通して、英語によるコミュニケーション能力を身に付けると同時に、日本とALTの母国間の文化差異の理解を深める。 各種activityを通して、自分が感じている事・考えている事を英語で発信できる能力を習得する。同時にそうしたactivityに参加する中で、自分とALTの間の物事の捉え方、問題の解決の方法の違い等、文化を根幹とする各種アプローチの差異を知る。</p> <p>④学習した表現等を用い、英語でのプレゼンテーションを行う。テーマの設定、情報の収集、情報の整理とまとめ、発表を通し、実践的で実用的なコミュニケーションスキルを磨く。</p>			
	<p>①英語による up-to-date な挨拶</p>	<p>②英語による small talk</p>	<p>③簡単なコミュニケーション能力の習得、及び文化差異の理解</p>	<p>④英語によるプレゼンテーション</p>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語できちんと挨拶の問い掛けができるか</li> <li>一辺倒の受け答えにならず、場面に応じた受け答えができるか</li> <li>発声に抑揚があり、挨拶の中に自分の感情を表現できているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶に続く会話の流れの中で「自分の事を相手に知ってもらおう」という意思があるか</li> <li>それまでの授業でのインプットを活かして、自分が相手に伝えたい事を、適切な英語を用いて表現する事ができるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種activityに対して積極的な取り組み姿勢を持っているか</li> <li>自分の意見を発信しなければならないactivityでは、他者の真似ではなく、自分自身の意見を形成しようと努力する事ができるか</li> <li>ALTの発話内容を理解しようとする努力が感じられるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した情報をまとめ、観客に伝わるように英語で再構築することができるか（スクリプト）</li> <li>整理された情報を視覚的にわかりやすくまとめることができるか（スライド）</li> <li>十分な声量、流暢さ、文法的な正確さ、身振り、アイコンタクトでプレゼンができるか（プレゼンテーション）</li> </ul>

## 2. 評価方法

評価方法・観察	①	②	③	④	具体的な項目
定期考査	◎	◎	◎		Speaking に関する到達度は ALT との面接で評価する。 それ以外の言語操作能力は筆記試験で評価する。
授業態度	◎	◎	◎	◎	ALT、JTE の英語を理解しようという積極性の有無、 また、自分の意見を英語で伝えようという前向きな取 組み姿勢の有無を重視する。

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

## 3. 学習にあたっての注意とアドバイス

① 英語による発信能力を高めよう、という基本姿勢を強く持つ事。
② 基本的に考査は授業時間を使って行う。教科担当者の指示をよく聞き、考査時に欠席しない事。

## 4. 年間学習計画

学期	月	学習の内容		考査範囲	予定時数
一 学 期	4月	(通年) ・英語を用いた挨拶表現 “What’s new?” “How’re you doing?” “How are you feeling?” 等の問い掛け表現、及び、 Fantastic/ Fine/ Pretty good/ Good /OK/ All right/ So-so/ Not so good 等の受 け答え表現の学習	・英語を用いた自己紹介 に必要な“My hobby is...” “I like...because~” “I’m interested in...” “I’ve been doing...for~years.” 等の表現の学習 ・授業での受け答えで用 いる 英語表現“I’ve got it.” “(I have) no idea” “I’m sorry for coming late.”等 の学習	4~7月の学習 内容を反映し たペーパーテ スト(筆記試験) +面接(1人約 10分程度)、プ レゼン	20
	5月	・自分に関する直近の出来 事を動詞の過去形を用いて 表現する学習	・日本の文化についての ポスター制作とプレゼン テーション		
	6月	・前回迄の学習内容のスパ イラル式review	・ALTによる各種ゲーム (Hot Potato, Snowman, 他)を通した、英語4技能 を均一に伸ばす学習		
	7月	・各種activityでのALT・ JTEの英語指示、発話を理解 するリスニング学習			

二 学 期	8月		・「夏休みをどう過ごしたか」について与えられた定型文を用いた発表		
	9月		・ Thanksgiving day, Guy Fawkes Day等、日本にはない行事の起源・歴史、及び現在の慣行の様子に関する学習		
	10月		・ Halloween, Christmas等、日本で一般化した行事に関する、多種多様な視点からの本国との差異の学習		
	11月				
	12月		・ 「The Tour I recommend おすすめの旅」というテーマで、国を選び、その国の首相の立場から国の抱える問題と観光客誘致の英語プレゼンテーション準備		
8~12月の学習内容を反映したペーパーテスト(筆記試験)+面接(1人約10分程度)、プレゼン	30				
三 学 期	1月		・「冬休みをどう過ごしたか」「新年の抱負」(与えられた定型文を用いた発表)		
			・「おすすめの旅」プレゼンテーション発表会	プレゼン	20

合計 70 時間